

# 令和3年度 学校評価 [年度当初]

	定時制 戸隠分校
--	----------

<b>教育目標</b>	<p>1 少人数教育の特性を生かし、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導をする。</p> <p>2 生徒個々の自己実現をはかり、社会に適応できる生徒の育成につとめる。</p> <p>3 地域に根ざした学校として、地域貢献活動に積極的に参加するなど、開かれた学校づくりをめざす。</p>	<b>重点目標</b>	<p>1 挨拶・身だしなみなど、基本的な生活習慣を確立し、学習・進路への自覚と意欲を高める支援・指導</p> <p>2 個々のニーズに応じた特別支援や「力を伸ばす」生徒指導の充実</p> <p>3 学校行事やHR・生徒会・クラブ活動等を通じた自主性・協調性の育成</p> <p>4 命と人権を大事にし、いじめや体罰のない学校生活を通じて、ともに生きる心の育成や社会規範意識を高揚させる生徒指導を行う</p>
-------------	--	-------------	---

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	評価			改善策・向上策
					A	B	C	
<b>教 育</b>	<b>学 習 活 動</b>	学習・進路への自覚と意欲を高める支援・指導の充実	生徒の学力や能力・適正・興味にあった力を伸ばす学習指導の支援ができたか。					
			授業を大切にし、集中できるように工夫し、遅刻厳禁・チャイムが鳴ったら席に着く習慣をつけさせることができたか。					
			個別指導および補充を充実させ、基礎学力の向上と3年後を見据えた学力を定着させることができたか。					
			「総合的な探究・学習の時間」や各種行事等の体験的な学習を充実させ、自主性・協調性・社会性を育成することができたか。					
<b>活 動</b>	<b>進 路 指 導</b>	個々のニーズに応じた特別支援や進路指導の充実	保護者を交えて生徒のありのままの姿を受容し、人生設計という視点で進路指導を進めることができたか。					
			ハローワークなど外部機関との連携を積極的に行い、必要に応じて就労支援会議を開催することができたか。					
			夏休みのインターンシップ等、就業体験や社会体験のできる機会をつくることができたか。					
			性格検査や適性検査を行い、進路実現に向けて1年生から取り組むことができたか。					

教育活動	生徒指導	命と人権を大事にし、いじめや体罰のない学校生活を通じて、ともに生きる心の育成や社会規範意識を高揚させる生徒指導の充実	安全かつ安心して学校生活を送れるよう、いじめ・差別・暴力を許さない集団づくりをめざすことができたか。					
			集団生活のルールを指導するとともに、適切な対人関係や異性とのつきあい方を指導することができたか。					
			生徒会・クラブ活動では、生徒と触れ合う時間を多く確保し、生徒の自主性育成のための指導助言を行うことができたか。					
			清掃活動は、全生徒職員で行い、学校内外部の環境美化に努め、定期的な草取りや落葉拾いを行うことができたか。					
学校	組織経営	少人数の特性を生かし、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導ができる体制づくりに心がける	生徒の実態に合った教育課程の弾力的運用を図ることができたか。					
			各部署が、課題解決の提案を行うことができたか。					
			危機管理体制の整備を行うことができたか。					
			生徒職員の安全を確保することができたか。					
			環境対策(ゴミの削減、電気・水道使用料の削減)を行うことができたか。					
運営	の保護者との連携	保護者との連絡を密にとり、生徒個々の自己実現をはかり、社会に適応できる生徒の育成につとめる	PTA総会・学級懇談会を開催し、活動を活発にすることができたか。					
			保護者面談を実施し、互いに情報提供を行い、連携して教育を行うことができたか。					
			適切かつ時節を得た家庭訪問を行うことができたか。					
学校運営	学校運営	地域に根ざした学校として、学校行事や体験学習を通じて、開かれた学校づくりをめざす	公開授業を開催するなど、情報を発信することができたか。					
			地域の人的資源を発見し、地域と学校との連携交流を推進することができたか。					
			特別支援教育を進めるため、関係者・関係機関との連携を図ることができたか。					

評価について A:大変良い B:ふつう C:良くない